

平成30年度

社会福祉法人瀬戸市社会福祉協議会事業報告

瀬戸市社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な団体として、平成29年度に「地域福祉活動計画」を策定し、地域福祉課題解決のため4つの重点施策を掲げ、実施初年度となる平成30年度は「地域の居場所推進事業」を核とし、以下の重点施策等を中心に福祉事業を展開した。

<地域福祉活動計画 重点施策>

1 誰もが集える居場所づくり

地域のコミュニティを維持することができるように、身近な地域で誰もが集まることができる居場所づくりを推進するため、令和元年度の実施に向け、新規事業である地域の居場所推進事業(わがまち「よりどころ」プロジェクト)の準備を進めた。また、地域での子育て支援に向けた取り組みとして、新たに子育てサロンを実施したい地域に対し、サロン開設への支援を行った。

2 地域で活躍できる支えあいの人づくり

地域懇談会や買い物支援をモデル的に実施し、住民と共に地域の困りごとを話し合う機会を持った。また、各種ボランティアの養成講座や災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の実施、高齢者の困りごとに対する支援の担い手を養成する元気高齢者サポーター養成講座など地域で活躍できる支えあいの人づくりの推進を図った。

3 相談できる・つながる仕組みづくり

地域担当者が各種団体の会議へ参加し、サロン等におけるふくし出前講座を通じて地域と積極的に関わり、地域住民間のつながりから得られる様々な困りごと情報を明らかにし、支えあいことへの支援、及び専門機関や行政の相談へつながる仕組みづくりを進めた。

4 支えあいの心をはぐくむ環境づくり

福祉に対する理解や知識を深める「福祉実践教室」、職員が地域の集まりに出向いて行う「ふくし出前講座」、夏休みに小学生を対象とした「こどもふくし体験きゃらばん」等を開催し、こどもから大人まで幅広い世代に対し福祉に接する機会をつくり、支えあいの心をはぐくむ環境づくりを進めた。また、本会や地区社協事業において障がい者施設で作られた物品販売等を通じて、障がい者が活躍できる機会や地域住民とふれあう機会をつくり、地域住民が障がいへの理解を深める機会づくりを進めた。

<平成30年度 重点項目>

1 地域担当制の配置

7地域包括支援センター単位に、地域担当職員や生活支援コーディネーターを配置し、地域にある生活課題の解決に向け、地域住民とともに地域福祉活動の推進を実施した。なお、毎月

地域担当連絡会を開催し、地域の居場所推進事業(わがまち「よりどころ」プロジェクト)推進のための情報共有及び事業準備を行った。

2 災害ボランティアセンターの充実

災害時に備えて、瀬戸北ロータリークラブから災害ボランティアセンター開設整備支援備品の寄贈を受け、災害時のボランティアセンター立ち上げ運営に向けた整備を図った。また、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練とあわせて子どもから高齢者までを対象とした災害啓発イベント「せと、そなえるフェスタ」を初めて開催した。

3 介護保険事業等の充実

利用者の望む生活の実現に向けて、居宅介護支援、訪問介護、介護予防支援等の事業を実施し、利用者が介護保険事業や障がい福祉サービスおよび地域の社会資源を円滑に利用できるような支援の充実を図った。なお、訪問介護事業については市内の事業所数が充足してきたことから、本会としての役割は区切りがついたと判断し、平成30年度をもって廃止した。

4 瀬戸市福祉保健センター(やすらぎ会館)の管理・経営の充実

瀬戸市福祉保健センターの管理者として指定を受けて、瀬戸市福祉保健センターの経営、身体障害者福祉センターの経営、老人福祉センターの経営、瀬戸市プレイルーム事業を実施し、利用者のニーズに合わせた管理・経営を行った。また、利用者へのアンケートを実施し、サービスの向上を図った。

5 地域包括ケアシステムの構築

基幹型地域包括支援センターでは認知症地域支援推進員を、やすらぎ地域包括支援センターでは認知症初期集中支援チームを市から新たに委託を受けたことで、相談支援を中心に機能を拡充し、地域包括ケアシステムの構築に向けて強化を図った。

<主な事業内容>

1 社会福祉推進活動

(1) 役員会等の開催

主な議案

- ・ 評議員選任・解任委員会委員の選任
- ・ 評議員選任・解任委員会の開催
- ・ 評議員選任候補者の推薦
- ・ 評議員会の開催
- ・ 事業報告・決算
- ・ 社会福祉大会の顕彰
- ・ 福祉奨学金入学準備費支給規程の制定
- ・ 職員の給与に関する規程の一部改正
- ・ 定款の一部改正
- ・ 補正予算

- ・事業計画・予算
- ・事務局組織規程の一部改正
- ・事務決裁規程の一部改正
- ・文書規程の一部改正
- ・公印規程の一部改正
- ・職員就業規則の制定
- ・育児・介護休業等に関する規程の一部改正
- ・臨時職員就業規則の制定
- ・居宅介護等事業の廃止による規程の廃止に関する規程の制定

(2) 地区社協

ア 地区社協会長連絡会及び企画委員会の開催

主な議案

- ・会員募集
- ・地域福祉活動計画
- ・敬老事業
- ・歳末たすけあい募金配分金
- ・地区社協役員研修会
- ・地区社協活動助成事業
- ・次年度配分金
- ・地区社協活動マニュアルの見直し

イ 地区社協役員研修会

今後の地区社協事業を考える機会として、地区社協役員を対象とした研修会を開催した。

とき	平成30年11月10日(土)
ところ	やすらぎ会館5階 大集会室
内容	「地域や社協で行われている新たな取り組み」 ～少しの工夫でよりよい地域を目指して～
報告者	地域住民、地区社協役員(道泉・深川・こうはん・品野)、 社会福祉協議会職員

ウ 地区社協事業

全地域推進事業(いきいきサロン、子育てサロン)及び各地区の実情に応じた事業等を実施した。

区分	事業名	地区社協数 (全18地区)
主な事業	敬老事業	18地区
	歳末たすけあい配分事業	18地区
	ふれあい会食	17地区
全地域推進 事業	いきいきサロン(高齢者・障がい者)	14地区
	子育てサロン	8地区

区分	事業名	地区社協数 (全18地区)
その他の 事業	配食サービス	3地区
	広報紙発行	15地区
地域懇談会	地域懇談会テーマ 「地域における困りごと」 「困りごとを解決するためにできる ことを考える」	3地区

(3) 各種委員会の開催

ア ボランティアセンター運営委員会

主な議案

- ・ 事業報告
- ・ 瀬戸市福祉教育推進校、福祉実践教室説明及び体験会、児童・生徒の福祉実践教室
- ・ 各種講座の開催
- ・ 評価チェックリスト
- ・ 事業計画
- ・ 地域福祉ボランティア活動助成金の交付

イ やすらぎ連絡会

主な議案

- ・ 事業報告
- ・ 事業計画
- ・ 部会及び事業内容(福祉夏まつり、福祉クリスマス会、福祉お楽しみ交流会)の実施

(4) 啓発宣伝活動

ア 関係機関、団体と連携を図るとともに、報道機関に記事を提供し、福祉活動の広報に努めた。

イ 社会福祉大会

とき	平成30年10月27日(土)		
ところ	やすらぎ会館5階 大集会室		
内容	市長感謝		22人
	社協会長表彰		13人
	社協会長感謝	2団体	25人
	赤い羽根作品		14人

ウ 福祉のつどい

子どもから大人まで楽しみながら福祉に関する理解と関心を深めるため、ボランティア体験コーナー、障がい者団体等の協力による手作り品即売会等、健康福祉フェアの中で実施した。

とき	平成30年11月17日(土)
ところ	瀬戸市文化センター
参加者	13, 102人

エ 本会が行う福祉事業の周知及び福祉に関する理解をより深めるため、広報紙「社協だより」を年4回(4、7、10、1月)発行した。また、「社協だより」リニューアルに向けて準備を進めた。

オ きめ細かな情報の発信のため、ホームページの更新を行った。

カ ふくしの出前講座の実施

町内会や地区社協、老人クラブ等各種団体の会合に出向き、「地域福祉活動計画」の講座、健康講座など福祉に関する様々な情報や知識について周知を図った。(講座件数10件)

キ やすらぎ木曜市の開催

障がい者就労施設等の利用者の就労体験や労働意欲向上及び会館利用者との交流を目的として、毎週木曜日に各施設の製品等をやすらぎ会館1階ロビーで販売する「やすらぎ木曜日」を開催した。また、福祉夏まつりや福祉クリスマス会、福祉お楽しみ交流会の開催にあわせ販売の機会を設ける等、障がい者の就労への理解を図った。(参加施設 延321施設)

ク 子ども食堂のモデル的实施

子どもの孤食を防ぎ、学習支援をすることで、安心して子どもが過ごせる居場所づくりを目的とした子ども食堂を実施した。内容は昼食づくり、食事の提供、運動等遊び、学習支援を行った。

	時期	開催日及び参加者
1回目	夏休み期間	平成30年7月30日(月)、31日(火) 平成30年8月28日(火)、29日(水)、30日(木) (参加者:子ども24人 協力者65人)
2回目	冬休み期間	平成30年12月25日(火)、26日(水)、27日(木) (参加者:子ども17人 協力者30人)
3回目	春休み期間	平成31年3月27日(水)、28日(木)、29日(金) (参加者:子ども20人 協力者38人)

(5) 各種団体との連携強化

自治会及び民生委員児童委員協議会との連携や各種団体活動への支援を行った。

2 福祉総合相談事業

福祉の総合相談窓口、よろず相談窓口として市内各所より高齢者や障がい者及びその家族から相談があり、情報提供や各種サービスの連絡調整・関係機関への紹介を実施した。また、介護支援専門員等の福祉従事者や医療機関といった専門機関からの相談の他にも、民生委員等地域の方からの相談が多くあり、専門機関につなぐ等の連携を図り対応を行った。

相談内容については高齢者に関する相談が多く、障がい者や認知症に関する相談も増加した。また、一世帯で高齢者や子どもに関する複数の課題を抱えている家庭からの相談も増加している。

内容	相談件数
高齢者	10,262件
障がい者	955件
認知症に関する相談	407件
権利擁護に関する相談	603件

3 ボランティアセンター事業

(1) ボランティアセンター機能の充実及び推進

ボランティアに関する相談・活動等に対応するため、ボランティア相談の実施、ボランティア登録の推奨など、ボランティアセンターの運営強化に努めた。また、高校生や一般市民を対象とした各種ボランティア講座、登録ボランティアの紹介及びボランティア活動の啓発、情報の提供を広報紙・ホームページ・フェイスブックで実施した。

ア ボランティアに関する状況

ボランティア登録	団体：91団体 (1,778人)	個人：15人	総数1,793人
ボランティア相談	活動依頼数176件	相談件数32件	総件数208件
ボランティアサロン	開催8回	参加人数365人	
ボランティア保険	加入総数：2,595人		

イ 講座等に関する状況

内容	対象	内容	開催日数	参加者数
講座	市民及び 登録ボランティア	・災害ボランティア コーディネーター養成講座	1日	72人
	教職員 (小・中・高等学校)	・福祉実践教室説明 及び体験会	1日	14人
	市民	・点訳ボランティア養成講座	1日	1人
	小学生 (4年生～6年生)	・こどもふくし体験きゃらばん	4日	延16人
災害啓発 イベント	市民	・せと、そなえるフェスタ 【新規】	1日	388人
広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「社協だより」…年4回掲載 ・ホームページ…随時更新 ・「広報せと」…ボランティア講座等の開催のお知らせ掲載 ・「ボランティアだより」…年4回発行(6、9、12、3月) ・フェイスブックの活用…随時 			
運営委員会	3回			

ウ 福祉実践教室開催状況

福祉実践教室：通年 参加者数：2,874人													
＜科目別実施回数(専門学校を含む)＞													(単位：回)
	科目												
	車いす	手話	要約筆記	点字	視覚障がい者ガイド	知的障がい者理解	音声訳	介護体験	高齢者疑似体験	盲導犬	講演	認知症サポーター	合計
小学校	14	18	0	15	3	0	0	2	0	1	0	0	53
中学校	3	2	0	1	2	1	1	1	3	2	0	0	16
高校等	0	2	1	1	2	1	0	0	3	1	0	2	13
合計	17	22	1	17	7	2	1	3	6	4	0	2	82

(2) ボランティア活動への支援

瀬戸市ボランティア連絡協議会をはじめ21団体の登録ボランティアを対象に、地域福祉ボランティア活動助成金を交付し、活動の支援を行った。

区分	件数	金額
通常の活動費	9件	365,000円
活動に必要な資機材の購入、買い替え等	11件	432,099円
ボランティア連絡協議会の運営に係る費用等	1件	200,000円
合計	21件	997,099円

4 心配ごと・法律相談所の運営

心配ごと相談は、毎週木曜日の午後1時から面接相談を実施した。法律相談は、毎月第1・3木曜日の午後1時から、第2・4木曜日の午前9時から弁護士による面接相談を実施した。

区分	開設回数	取扱延件数	1回当たり取扱件数
心配ごと	49回	51件	1.0件
法律	45回	300件	6.7件

5 援護活動事業

(1) 歳末たすけあい援護事業の実施

ア 歳末たすけあい募金配分金関係

介護保険要介護4・5の方、身体障害者手帳1・2級の方、療育手帳A判定の方、精神保健福祉手帳1・2級の方及び母子父子家庭等の18歳未満の子を対象に、介護用品券・福祉タクシー券・図書カード・シルバー人材センターサービス提供券を支給した。

内容	支給件数	支給金額
歳末たすけあい募金配分事業	1, 610件	3, 220, 000円

イ 各地区社協において、介護用品の支給、ふれあい会食、おせち料理の配食、クリスマス会、慰問等の地域福祉事業を実施した。

ウ 障がい者施設及び瀬戸市母子福祉会への助成を実施した。

対象	助成金額
障がい者施設(22施設)	240, 500円
瀬戸市母子福祉会	75, 000円

(2) 法外援護

内容	貸付件数	貸付金額
小口融資資金貸付	10件	175, 000円

6 各種福祉活動

- (1) 児童青少年福祉活動
- (2) 母子・父子福祉活動
- (3) 老人福祉活動
- (4) 障がい者福祉活動

区分	事業内容
児童青少年福祉	1 福祉教育推進校の指定 6校 小学校 祖母懐、掛川 中学校 祖東、光陵 高等学校等 聖霊、瀬戸北
老人福祉	1 敬老行事に対する事業費助成 75歳以上20, 065人
障がい者福祉	1 福祉クリスマス会 平成30年12月8日(土) 参加者216人(障がい児とその家族127人、ボランティア関係者89人)
社会福祉一般	1 広報活動の充実強化(社協だより、ホームページ等) 2 社会を明るくする運動への協力 3 車いすの貸し出し470台 4 ゆうあい号(車いすスロープ付軽自動車)の貸出し64件

7 福祉奨学金支給事業

(1) 福祉奨学金の支給

低所得世帯の生徒が高等学校及びこれに準ずる専門学校へ通学する場合に必要な学資の一部として奨学金を支給した。

(2) 福祉奨学金入学準備費の支給【新規】

新小学1年生及び新中学1年生の入学援助のため、瀬戸市から就学援助費新入学児童生徒学用品費を受給する方を対象に、福祉奨学金入学準備費を支給した。

内容	対象者	支給額
福祉奨学金	17人	170,000円 (10,000円/1人)
福祉奨学金入学準備費	99人	1,980,000円 (20,000円/1人)

8 おもちゃ図書館「クレヨン」の運営及び活動

障がいのある子ども達や小学生以下の子ども達が、おもちゃを通して親子で楽しく遊びながら成長できるように支援した。また、昨年に引き続き、おもちゃの良さを幅広く知ってもらう機会として、文化センターで開催した福祉のつどいや、高齢者施設への「移動おもちゃ図書館」を実施した。

運営主体であるボランティアの資質向上のため、研修会等への参加の機会を設けた。

内容	利用者数	日数	おもちゃ貸出数
おもちゃ図書館 「クレヨン」	1,395人	112日	222個 (障がい児関係者及び子育て関係団体)

内容	利用者数
移動おもちゃ図書館(3施設)	107人

9 受託運営事業

(1) 訪問調査事業

瀬戸市から委託を受けて、要介護認定調査対象者に対して介護支援専門員が訪問調査等を行った。

内容	件数
介護保険訪問調査	1,657件

(2) 瀬戸市福祉保健センター(やすらぎ会館)の管理・経営

ア 福祉保健センターの施設管理

指定管理者制度により、福祉保健センター(やすらぎ会館)の指定を受けて、管理・経営を実施し、サービス向上に努めた。

階	施設名	件数	人数
1階	第1作業室	298件	3,491人
	第2作業室	147件	1,921人
	日常生活訓練室	99件	1,121人
2階	プレイルーム	291件	27,879人
	視聴覚室	373件	8,141人
	201会議室	397件	5,966人
	ボランティア室	250件	2,867人
	相談室	148件	752人

階	施設名	件数	人数
3階	教養娯楽室	291件	10,524人
	和集会室	180件	7,805人
	相談室	191件	1,671人
4階	健診室	235件	5,512人
	401会議室	60件	924人
5階	大集会室	491件	14,462人
	看護指導室	132件	1,572人
	リハビリ指導室	235件	2,782人
	501集会室	160件	2,177人
	栄養実習室	128件	2,663人
合計		4,106件	102,230人

イ 身体障害者福祉センターの運営

障がい者に対し、社会参加のために必要な教養講座等を行うとともに、相談に対し助言・指導を行う等、各種サービスの提供を行った。また、福祉夏まつり及び福祉お楽しみ交流会を開催した。

内容	参加者数	開催日
福祉夏まつり	1,640人	平成30年8月3日(金)
福祉お楽しみ交流会	743人	平成31年2月15日(金)、16日(土)

ウ 老人福祉センターの運営

60歳以上の高齢者を対象に、教養講座・機能回復訓練等ニーズに合わせたサービスの提供に努めた。また、センター利用者に対して毎週月・火・木曜日に、老人クラブに対して水・金曜日に送迎バスを運行し、利用の便宜を図った。

(ア) 各種教室の状況

区分	参加者			開催日数
	高齢者	障がい者	延人数	
陶芸教室	10人	0人	60人	6日
体操教室	17人	0人	102人	6日
編み物教室	9人	2人	88人	8日
書道教室	8人	0人	48人	6日
パソコン教室	17人	3人	120人	12日
絵手紙教室	8人	0人	32人	4日
スマートフォン教室	6人	2人	16人	2日
折り紙教室		8人	25人	4日
料理教室		11人	36人	4日
合計	75人	26人	527人	52日

(イ) 団体別利用状況

老人クラブ	教室	サークル	その他の団体	合計
1, 855人	528人	560人	1, 830人	4, 773人

(ウ) 設備・事業別利用状況

ヘルストロン	入浴	囲碁・将棋	相談	合計
12, 880人	8, 805人	10, 524人	5人	32, 214人

(エ) 送迎バス利用状況

区分	利用日	利用人数
個人利用者	月・火・木曜日	1, 495人
老人クラブ	水・金曜日	1, 243人
その他の団体		345人
合計		3, 083人

エ プレイルームの運営

月曜日から金曜日までを「育児サロン」として位置づけ、親子を見守り、友達づくりの援助や育児相談に応じた。また、年間を通じて、子育て中の保護者が交流しながら学びあう講座を企画し、子育て支援に努めた。

小学生に対しては、個性や感性を伸ばし健全な育成を目的とした教室等を実施した。

区分		回数	人数
講座・教室等	育児講座	58回	3, 854人
	人形劇等	3回	271人
	小学生教室	10回	209人
	小計	71回	4, 334人
プレイルーム	育児サロン	243回	24, 663人
	一般利用者数	48回	3, 216人
	小計	291回	27, 879人
合計		362回	32, 213人

(3) 地域包括支援センター事業の実施

ア やすらぎ地域包括支援センターの運営

瀬戸市が設置する地域包括支援センターの1つとして、陶原・長根地区に住む高齢者を対象に、自宅訪問や介護予防教室等を行った。また、平成30年度より認知症初期集中支援チーム【新規】が新設され、認知症を抱える方の支援の充実を図った。

	事業実施内容	実績
やすらぎ地域包括支援センター	介護予防(口腔)教室実施回数	3回
	地域はつらつ講座実施回数	6回
	高齢者実態把握件数	235件
	総合相談支援件数(処遇困難事例)	19件
	介護支援専門員に対する支援件数	101件
	住宅改修理由書作成件数	12件
	認知症初期集中支援延件数	39件

イ 瀬戸市基幹型地域包括支援センターの運営

市内7か所の地域包括支援センターの全体調整や支援、緊急・困難ケースへの対応、地域包括支援センター及び介護支援専門員の資質向上研修、認知症カフェの開催、医師会等の医療関係機関との連携、介護予防・日常生活支援総合事業に関する情報収集等を実施した。また、平成30年度より認知症地域支援推進員【新規】を受託し、認知症に関する地域からの相談対応や認知症カフェの開催や普及啓発を行った。

	事業実施内容	実績
基幹型地域包括 支援センター	相談延件数	1,423件
	相談延件数のうち認知症に関する相談延件数	127件
	介護保険事業所向けに開催した研修回数	4回
	行政・地域団体等の依頼に応じて開催した講座回数	9回
	地域ケア会議の開催及び出席した回数	7回
	認知症カフェの開催回数	21回

(4) 日常生活自立支援事業の実施

愛知県社協から事業の委託を受けて、相談・援助業務を行った。

	件数
新規契約数	2件
年度末契約数	19件

内容 \ 対象者	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	合計
問い合わせ件数 (制度、事業について)	8件	2件	6件	16件
初回相談件数 (初回相談受付)	4件	2件	3件	9件
相談援助件数	190件	192件	336件	718件
合計	202件	196件	345件	743件

(5) 生活支援コーディネーター配置業務(第1層・第2層)の実施

市内全域(第1層)の生活支援コーディネーターとともに、今年度、7地域包括支援センター圏域からモデル的に配置された3圏域(ふたば地域包括支援センター圏域・地域包括支援センターしなの圏域・地域包括支援センター中央東圏域)に第2層生活支援コーディネーター【新規】を配置した。

地域におけるボランティア等の生活支援サービスに関連する資源の把握やネットワーク構築に向けて各種研修会・会議への参加を行い、生活支援・介護予防サービスの整備に向けた情報の把握に努めた。

事業内容	件数
資源の把握及び開発	114件
ネットワーク構築	196件
ニーズと取り組みのマッチング	265件
サービスの担い手の養成	37件
合計	612件

(6) 各種福祉関係団体の受託

6 団体(瀬戸市遺族連合会、瀬戸市更生保護女性会、瀬戸市民生委員児童委員協議会、瀬戸市子ども会連絡協議会、瀬戸市母子福祉会、瀬戸市老人クラブ連合会)の事務局等の運営業務を行った。

(7) 元気高齢者サポーター養成講座業務の実施

高齢者の困りごとに対する支援や介護予防に取り組む担い手を養成するため、市内在住の 65 歳以上の方を対象に、瀬戸市の高齢者事業や地域でサロン活動や支えあい活動を実施している方との意見交換会を開催した。(年 2 回開催)

	開催日	受講者
1 回目	平成 31 年 2 月 19 日(火)	7 人
2 回目	平成 31 年 2 月 28 日(木)	8 人

10 介護保険事業

(1) 訪問介護事業(ホームヘルパー派遣)

要介護認定者にホームヘルパーを派遣し、身体介護・生活援助及びその他必要なサービスを提供した。

(2) 第 1 号訪問事業介護予防訪問サービス・生活支援訪問サービス事業(ホームヘルパー派遣)

要支援認定者及び事業対象者にホームヘルパーを派遣し、生活援助及びその他必要なサービスを提供した。

内容	区分	利用者数(月)
介護保険事業	事業対象者	5 人
	要支援 1	16 人
	要支援 2	15 人
	要介護 1	10 人
	要介護 2	15 人
	要介護 3	5 人
	要介護 4	2 人
	要介護 5	2 人
合計		70 人

内容	利用者数(年)	派遣回数(年)
介護保険事業	768 人	5,761 回

(3) 居宅介護支援(ケアプラン作成)事業

せと地域福祉サービスセンター(居宅介護支援事業所)を運営し、要介護認定者にケアプランを作成した。

内容	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
利用者数	34 人	21 人	24 人	7 人	8 人	94 人
作成延件数	387 件	257 件	296 件	79 件	69 件	1,088 件

(4) 介護予防支援、第1号介護予防支援(地域包括支援センター)事業

やすらぎ地域包括支援センターの事業として、陶原・長根地区の要支援認定者及び事業対象者に介護予防ケアプランを作成した。

区分	事業対象者	要支援1	要支援2	合計
利用者数	16人	52人	73人	141人
作成延件数	225件	618件	850件	1,693件

11 障害者総合支援事業

(1) 障害福祉サービス居宅介護(ホームヘルパー派遣)事業

ホームヘルパーを派遣し、家事援助及びその他必要なサービスを提供した。

内容	延利用者数	延派遣回数
障害者総合支援事業	11人	94回

(2) 地域生活支援(地域活動支援センター)事業

創作的活動、社会適応訓練、レクリエーション及び送迎等のサービスを行った。また、多くのボランティアの協力を得ながら、一人ひとりの適性に合わせた活動支援を行った。

区分		人数	開催日数
利用登録者		29人	242日
参加延人数	利用者	1,653人	
	ボランティア	785人	

12 その他

(1) 瀬戸市共同募金委員会への支援

ア 共同募金運動(赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金)の実施

内容	募金実績額
一般募金	12,531,598円
歳末たすけあい募金	6,991,281円
合計	19,522,879円

イ 募金機能付き自動販売機の普及啓発

内容	新規設置台数	延設置台数
募金機能付き自動販売機	5台	15台

(2) 日赤瀬戸市地区への支援

ア 活動資金の募集

内容	募集実績額
一般社資	7,632,855円
法人社資	711,352円
合計	8,344,207円

イ 災害救護・災害訓練

日赤瀬戸市地区奉仕団として瀬戸市総合防災訓練に参加し、炊き出しを行った。

ウ 災害見舞金及び物資の支給

支給件数	災害見舞金	物資
3件	24,000円	毛布8枚 緊急セット3セット

エ 災害義援金等の受付

被災者支援の一助とするため、やすらぎ会館等に募金箱を設置して災害義援金を募り、また窓口にて受付を行った。